

安全への取り組み

東京ガスは経営の重要課題の一つとして、1885年の創業以来、安全性の追求に取り組んでいます。当社では、ガスの利便性を高め、お客さまの信頼を頂くためには、安全性に対して更なる配慮をしていく必要があると考えています。特に日本のように地震の多い国では、安全面には細心の注意を払う必要があるとの認識のもと、安全性の向上に日々努力を重ねています。

基本的な考え方

ガス関連の事故の多くは、製造や供給段階よりも、特にガスご使用時の不注意により発生しています。このような事故をなくすために、東京ガスでは様々な角度から安全性を高めるための施策を講じています。その1つとしてマイコンメーターが挙げられます。マイコンメーターとは、ガスメーターにマイコン制御器を組み込んだ安全システムで、マイコンが24時間ガスの使用状況等を監視し、ガス漏れ、機器の消し忘れ、地震等を感知すると、自動的にガスを遮断します。また、東京ガスではガスの正しい使い方の周知やガス器具の定期点検の実施、事故を未然に防ぐための緊急出動体制の整備等を行っています。

インテリジェントサービスシステム



マイコンメーター

東京ガスでは、インテリジェントサービスシステムによってお客さまと東京ガスを電話回線を通して結び、ガスの使用状況を見守っています。このシステムは、お客さまのところに設置したセンサーが異常を感知した際に、24時間体制で監視を行なうコントロールセンター「ステーション24」へ通報される仕組みになっています。

ガスライト24 - 緊急対応体制

「ガスライト24」では、ガスの本支管から供給管、さらにお客様のガス設備におけるガス漏れ等に対応できるよう、24時間の緊急出動体制をとっています。また、携帯型情報端末を使った緊急保安業務支援システム「EAGLE24」を利用し、トラブルの種類、規模、状況に応じた的確・迅速に緊急車両や人員の出動体制を組んでいます。

東京ガスの地震対策

東京ガスでは、365日安心してガスをお使い頂くために3段階で地震・防災対策を行っています。第一段階としては、製造・供給設備に最新の耐震技術を採用し、災害時の被害を最小限に留めるようにしています。また、第二段階では火災や爆発などの二次災害を未然に防ぐための万全な緊急対応策を実施しています。第三段階としては、ガス供給を遮断した場合に安全かつ早急な供給再開を行なうための早期復旧対策を行っています。また、供給エリア3,200km²において高機能地震計(新SIセンサー)を3,700基配備する、世界一超高密度な新防災システム SUPREME を現在構築中であり、より一層の防災レベルの向上を目指しています。



左
ガスの安定供給、災害の監視を行うコントロールセンター



右
高機能地震計(新SIセンサー)